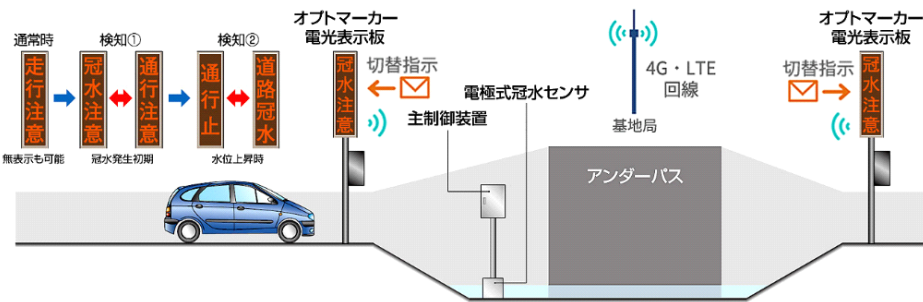
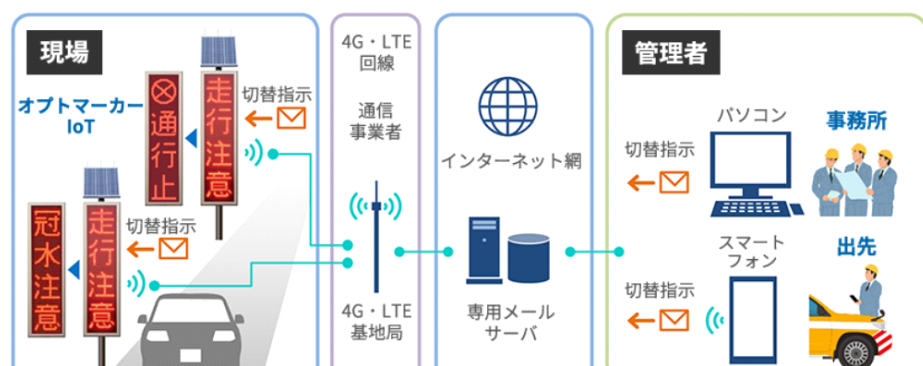


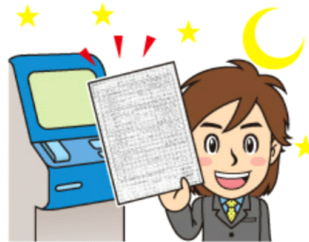


事業概要【フロントヤード改革事業】

自治体名	長野県御代田町	人口	16,700人	事業費	43,200千円
事業概要	<p>フロントヤード改革として、来庁者の負担軽減を目的に「書かない窓口」と「窓口発券機」を一体的に導入する。書かない窓口では職員の聞き取りと本人確認情報等を活用して申請書を印字し、記入負担や記入ミス、手戻りを削減するとともに、必要手続と担当窓口を整理して案内・引継ぎを円滑化する。窓口発券機では用件別に受付し番号呼出で待ち順を可視化、混雑状況をWeb公開して最大待ち時間の抑制と住民サービス向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【書かない窓口】 職員がシステムに沿って来庁者から聞き取りし、基幹系連携で氏名・住所等を自動入力(転入等は本人確認書類をカードリーダーで読取)して申請書作成の記入・転記を削減する。 聞き取り内容から必要手続と担当窓口を自動整理し、案内用紙で関係課へ引き継ぐことで、窓口間の迷い・重複説明を減らす。入力データはRPAで基幹系へ転記し、転記漏れ等のリスクを抑える</p> <p>【窓口発券機】 庁舎内の受付端末で、手続内容を選択して受付し、発券された番号により順番待ちを行う。【来庁者は自分の呼出状況や、庁舎全体の混雑状況を、庁内表示に加えてスマートフォン等からWEBで確認できるようにする。</p>		<p>①窓口発券機で受付</p> <p>②書かない窓口で対応</p> <p>③スムーズな引継ぎ案内</p> <p>案内用紙</p> <p>申請書</p> <p>行くべき課が記載されているので迷わない</p> <p>用件の選択</p> <p>マイナンバーカードの読み取り 申請内容の聞き取り システムへの入力</p> <p>申請書・案内書作成</p> <p>番号表示</p> <p>WEBから確認可能</p> <p>基幹系から読み取り</p> <p>番号札の発行</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①書かない窓口システムの利用件数</p> <p>②混雑状況を公開するWebページのアクセス件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①書かない窓口の満足度</p> <p>②最大待ち時間数の減少</p>		

事業概要 【アンダーパス冠水センサー監視事業】

自治体名	長野県御代田町	人口	16,700人	事業費	14,572千円
事業概要	<p>町内にある交通量の多いアンダーパスに冠水センサーを設置し、冠水状況を監視し、冠水した場合には通知により、同アンダーパス付近に設置のオプトマーカーにて、進入禁止等の注意喚起を実施し、被害を防ぐものです。当該アンダーパスは町内最大の住宅密集地へつながるための場所であり交通量が多い場所です。そのため、当該箇所での冠水立ち往生等を防ぐため、冠水センサーおよび注意喚起のオプトマーカーを設置するもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="293 483 1189 1332" style="width: 48%;"> <p>【冠水センサー】 アンダーパス内に冠水センサーを設置し、設定水位に達した場合に、町および住民等へ通知</p> <p>【オプトマーカー】 アンダーパス付近へ設置し、アンダーパスへの侵入について警告等の表示をする</p> </div> <div data-bbox="1189 483 2157 1332" style="width: 48%;"> <p>■ 通信切替のできる冠水情報板のシステム図（切替表示例）</p>  <p>■ 遠隔地からメール送信による通信で現場の情報板を表示切替</p>  </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①冠水センサー設定水位到達回数</p> <p>②町公式ホームページ、緊急情報へのアクセス数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①アンダーパス冠水による車両被害発生件数</p>			

事業概要 【税証明書のコンビニ交付システム導入事業】

自治体名	長野県御代田町	人口	16700人	事業費	7,603千円
事業概要	<p>住民の利便性向上に資するため、税証明書のコンビニ交付サービスを導入します。税の証明書に関して、役場開庁時間に来庁できない方も多いため、コンビニで交付できることにより、住民の利便性向上に資するものです。こうしたデジタル技術を活用し行政サービスのスマート化を進めます。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【税証明のコンビニ交付】 現在窓口または郵送での請求しか対応していない税に関する証明書の発行を、コンビニ交付に対応することで、利便性向上を図ります。</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>いつでも</p> <p>毎日6:30から23:00まで、ご利用いただけます。 お昼休みや市区町村窓口の開庁後（夜間、休日）でも、いつでも必要なときにご利用いただけます。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <p>どこでも</p> <div style="margin-left: 10px;"> <p>お住まいの市区町村に関わらず、全国どこでも最寄りのコンビニエンスストア等店舗内に設置されているキオスク端末（マルチコピー機）より証明書が取得出来ます。</p>  </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>かんたんに</p> <p>全国のコンビニエンスストア等店舗でも証明書が取得出来ます。 証明書が急に必要になった時も、出先の店舗に設置されているキオスク端末から、簡単操作ですぐに取得出来ます。</p> </div> </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①所得証明書のコンビニ交付発行件数 ②課税証明書のコンビニ交付発行件数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①役場閉庁時（休日・夜間等）にコンビニで税証明書を発行した件数 ②窓口での税証明発行件数 ③ 			

事業概要 【保育所 ICT 環境整備事業】

自治体名	長野県御代田町	人口	16,874人	事業費	5,053千円
事業概要	<p>保育園ICT システムを導入し、保護者に対しアプリを提供することで、保護者がいつでもどこでも必要な連絡や情報入手したり確認を行える等保護者の利便性の向上を図ると共に、デジタル化による情報伝達の効率化及び確実性に資する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育園ICTシステム（コドモン）】</p> <p>《保護者アプリサービス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻連絡 ・毎日の健康チェックや毎月の発育測定結果、出欠席日数の集計等連絡帳機能 ・お便りの一斉配信による家庭内での瞬時の情報共有 ・園だより、お知らせ等プリントの一括確認 ・アプリから写真購入 <p>《保育園ICTシステム内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理 ・園だよりの配信 ・検温、午睡等健康チェック ・写真データの管理 ・延長保育料計算 ・指導案等帳票作成 		<p>職員間の情報共有 登降園管理 各種帳票作成・管理 発育・健康記録 ほか</p> <p>保護者連絡 (欠席・遅刻連絡、連絡帳、ドキュメンテーション)</p> <p>お子様の情報や成長の記録を家族間で共有 打刻時の通知による安全性向上 施設からのお知らせ・緊急連絡等をいつでもどこでも確認 写真の購入もアプリから簡単にほか</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①在園児に対するアプリのダウンロード割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保護者アンケートによる利用満足度</p>		

事業概要 【マイナンバーカードを活用したタクシー助成事業】

自治体名	長野県御代田町	人口	16,700人	事業費	13,256千円
------	---------	----	---------	-----	----------

事業概要

本町では、公共交通機関の不足が課題となっており、特に移動手段を確保できない高齢者にとって大きな問題となっている。本町では、70歳以上の高齢者等に対し、タクシー料金の一部を補助する事業を実施している。紙媒体のタクシー券をマイナンバーカードを活用したDXを導入し、申請や精算の利便性を向上させる。また、DX導入により、移動の利便性が向上することにより、地域内での交流促進や孤立防止にもつながり、安心して快適に暮らせる町へつながる。

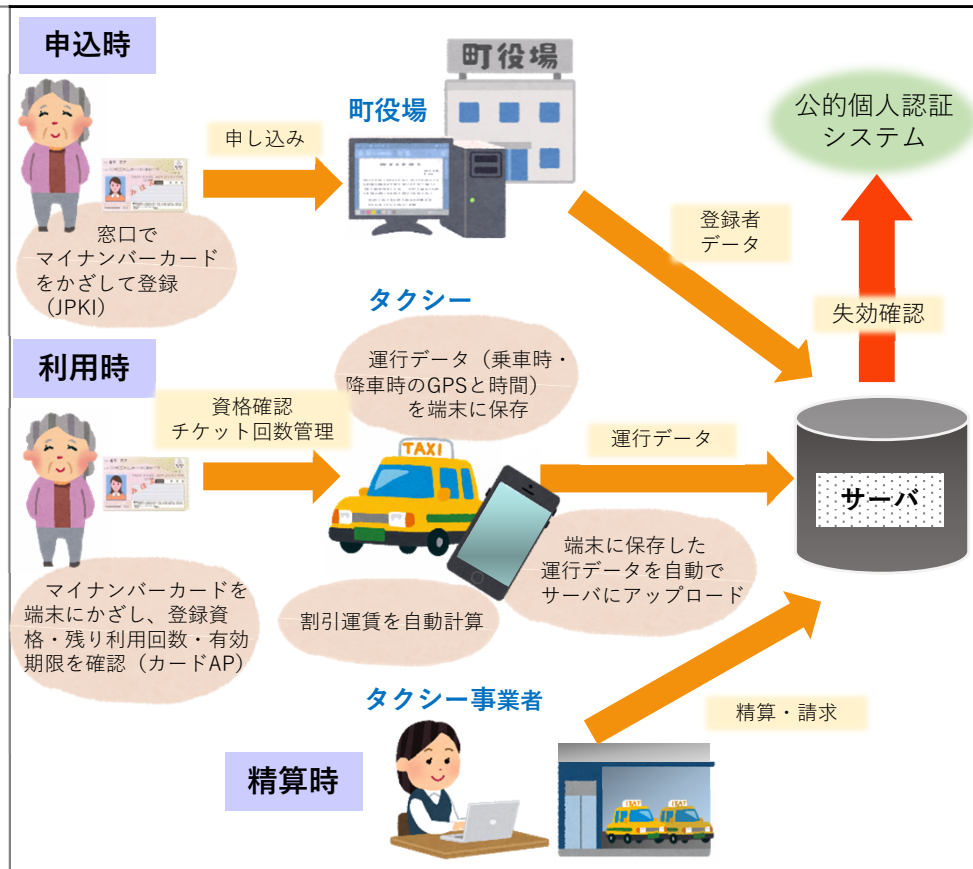
具体サービス

○申請手続き

- ・利用者は、役場に来庁し、利用登録システムを用いて、「4情報」と「電子証明書」による電子的な本人確認を行う。
- ・町職員は、利用登録システム上に表示された住所、生年月日の目視確認と資格確認を行う。
- ・利用登録完了後に、利用者は、すぐに利用することが可能となる。

○運行時の流れ

- ・利用者は、乗車時にマイナンバーカードを提示し、ドライバーは車両内端末を操作し、車両内端末にマイナンバーカードをかざす。
- ・マイナンバーカードを車両内端末にかざした際に、資格確認、利用回数の確認を行う。
- ・目的地に到着後、ドライバーは、車両内端末を操作し、割引内容を選択し、端末画面に表示された金額を利用者から受領する。



主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①タクシー利用券の電子化登録率（%）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①助成対象者の月平均外出頻度の向上</p>
-------	---	---